

日 時 平成24年10月2日(火)  
授業者 教諭 佐藤美幸

1 題材名 「想いを形にこめて・・・～われらの聖火台～」 A 表現(2)(3) B鑑賞(1)〔共通事項〕

2 題材の目標

- ・聖火台などの立体造形物について、形や材質や設置方法などが見る者に与えるメッセージ性について関心を持ち、社会生活における美術の働きについて理解し、作品を味わう。
- ・自らの伝えたいことを多くの人に伝えるために、形や素材などの効果を生かして表現の構想を練る。

3 題材設定の理由

○普段何気なく目にしているモニュメントや野外彫刻などにも作者の意図やメッセージがこめられている。この夏に注目されたロンドンオリンピックの聖火台も全世界の人々へのメッセージがこめられた作品だった。形や色だけでなく、大きさや素材、設置方法にも何らかの作者の想いがこめられている。

造形物を鑑賞する際に、こうした作者のメッセージに想いをめぐらせることは、表現の基にある人間の想いを感じ取る喜びにつながると考える。また、逆に自分の想いを他者に伝えるために形や素材などを選び構想していく力は、表現を支える大きな要素であり伸ばしたい能力である。

○本題材の学習を通して、主題のある立体造形の「形」へのこだわりや工夫をこらすこと、言語による発表や相互の発想の鑑賞を体験させたい。時間や技術面での制約で表現に意欲を失いつつある生徒にも、構想の段階での楽しみを広げることは美術への関心や自信を持たせるきっかけになると考える。そのため、今回はあえて作品制作の実施をせず、アイデアデッサンまでの発想や構想を重視して活動をさせたい。

教材としては、この夏、生徒もテレビ等で見ていたであろうロンドンオリンピックをはじめとした様々なオリンピックの聖火台を鑑賞させ、関心を喚起したい。その後で、最上級生として今学期の一大イベントである大文化祭の聖火台をデザインすることで意欲的な取り組みを期待したい。さらに解説放送を行うという活動を通して、構想を言葉で表現し、自分の考えを確かめるとともに、互いに気づき深めあう活動を体験させたい。また、ワークシートやデザイン画制作の段階でグループでの話し合いを行うことで、アイデアを練りなおすことのおもしろさや1人では気づかなかったことへの気づきの大切さを味わわせたい。

4 教材・準備物

- ・ロンドンオリンピックの聖火台および歴代オリンピック聖火台の映像・写真
- ・ワークシート1・ワークシート2・振り返りシート
- ・実物投影機・プロジェクター

5 (1) 題材の評価規準と単位時間における具体的な評価規準

<題材の評価規準>

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現</b> 自らの想いを伝えるために、効果的な形や素材などを選択しようと主体的に考えている。</p> <p><b>鑑賞</b> 立体造形作品の形や材質、設置位置などが見る者に与えるメッセージ性について関心を持ち、作品の見方を深めようとしている。</p>	<p>・自らの伝えたい内容を多くの人に伝えるために、形や素材などの特性を生かして表現の構想を練っている。</p>	<p>・自らの伝えたい内容を多くの人に伝えるために、表現の構想に合う形や素材などを考え、自分の表現意図が的確に伝わるような紙面構成を考えながら創造的に表現している。</p>	<p>・社会における造形の働きについて理解する。</p> <p>・伝えたい想いを形や素材の工夫で表現できることに注目し、自他の作品を批評できる。</p>

<学習活動に即した評価規準>

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>鑑賞</b> 関①立体造形作品の形や材質、設置位置などが見る者に与えるメッセージ性について関心を持ち、作品の見方を深めようとしている。 <b>表現</b> 関②自分の表現したいイメージを他者に伝える方法を何種類か考えたり、工夫したりしようとしている。 <b>表現</b> 関③自他の考えを比べたり他者のアドバイスを受けてよりよい作品を追究しようとしている。	<b>発①</b> 自らの伝えたい内容を多くの人に伝えるために、形や素材などの特性を活用して表現の構想を練っている。	・自らの伝えたい内容を多くの人に伝えるために、表現の構想に合う形や素材などを考え、自分の表現意図が的確に伝わるような紙面構成を考えながら創造的に表現している。	<b>鑑賞①</b> 社会における造形の働きについて気づき、意識している。 <b>鑑賞②</b> 伝えたい想いを形や素材の工夫で表現できることに注目し、自他の作品を批評できる。

(2) 題材の指導計画と評価計画 (全5時間)

- ・聖火台やモニュメントなどを鑑賞しよう。・・・1時間
- ・二中の文化祭のための聖火台(モニュメント)を設計し、作品の意図や工夫を解説者になったつもりで実況放送原稿にまとめてみよう。・・・3時間
- ・設計図(デザイン画)と放送原稿を発表しあい、批評し合おう。・・・1時間

時	●学習のねらい・学習活動	学習活動に即した評価規準				評価方法、留意点等
		関意識	発構能力	創意識	鑑動	
1	●聖火台やモニュメントを鑑賞し、形や材質、設置位置などが見る者に与えるメッセージ性について関心を持ち、社会における造形の働きについて理解することができる。 ・作品を鑑賞し、形・材質・設置場所などに注目して作者の作品に対する意図などを考える。 ・解説者のコメントを読み(聴き)、作品の形などから作者の意図・想いを確認しながら、再度作品を鑑賞する。	関①			鑑①	関① 活動への意欲や態度【観察】 鑑① 【プリント・発言内容】
3	●自らの伝えたいことを伝えるために、形や素材などの効果を生かして表現の構想を練り、自他のアイデアを互いに批評しすることで、考えを深めることができる。 ・大文化祭のテーマや参加者、設置場所、テーマに合う質感の材料などを考えながら、聖火台のアイデアを考える。 ・グループ内で、自分のアイデアを発表しあい、意見交換を行う。 ・グループで大文化祭のための聖火台を設計し、作品の意図や工夫を解説するために、放送原稿を作る	関②	発①	創①		関②【ワークシート①】イメージの選択肢を豊かに増やしているか 発①【ワークシート②・アイデアデッサン】ワークシートを利用し構想をよく練っているか 創①【アイデアデッサン】
1	●形・材質・設置場所などにこめた意図を伝え合うことで、互いの作品を自分の価値意識をもって味わうことができる。 ・設計図(アイデアデッサン)と解説の放送原稿を発表しあい、批評し合う。	関③			鑑②	関③ 鑑② 自他のアイデア画を鑑賞し、建設的な話し合いをしているか 【ワークシート③(感想)】

7本時の学習（3／5時間）

(1) 本時のねらい

自らの伝えたいメッセージを多くの人に伝えるために、形や素材、設置場所などを工夫して表現の構想を練り、自分の表現意図が的確に伝わるような紙面構成を考えながら創造的に表現することができる。

(2) 本時の展開

分	◇学習活動・予想される生徒の反応	教師の支援	評価方法
10	◇前時の学習をふりかえる ・個人で聖火台のデザインを考えた。 ・色や材質によって異なる感じが伝えられた。	・共通事項に注目させ、 想いを表現する選択肢 をひろげる。	ワークシート①
25	◇グループで伝えたい想い（テーマ）を決め、それを表現するデザインを考える。 ①文化祭で何を伝えたいかを考える。 「団結」「協力」「個性」  ②素材や形状、設置方法などを検討しあいながら、ワークシート②を書き、アイデアデッサンをして、デザインをまとめる。 ・円、集合体、放射形、 ・なめらか、突起 ・和紙・金属・ガラス・・・	・思いつかない生徒には ワークシート①を参考に 「形」「色」「素材」「設置場所」の4点を考える よう促す。	ワークシート② アイデアデッサン
10	◇発表に向けて、発表用の資料を用意する。 ・ワークシート②の修正 ・アイデアデッサン		アイデアデッサン (発表用)
5	◇本時のまとめと次時の活動の確認 ・グループごとにデザインを放送風に発表する。		

(3) 予想される生徒の具体的な姿（評価基準）

	十分満足と判断される生徒の具体例	おおむね満足と判断される生徒の具体例	支援を必要とされる生徒の姿の具体例と支援
美術への 関心・意 欲・態度  <観察、 ワークシ ート②>	・立体造形作品の形や材質、 位置などが見る者に与えるメ ッセージ性について言及したり 記述したりする。 ・自他のアイデアの良さを認め、 考えを深めようとしている。	・主体的に考えたり、工夫したりし ようとしている。	・主体的に考えたり、工夫したりが できない生徒に対して、友達 のワークシートや資料集などを 参考にして支援する。
発想や構 想の能力  <観察、 ワークシ ート①② >	・自らの伝えたい内容を多く の人に伝えるために、形や素 材などの特性を効果的に生か して表現の構想を練りあげて いる。	・自らの伝えたい内容を 多くの人に伝えるため に、構想を練っている。	・構想を練ることが難しい生徒に 対しては、伝えたいことを表す 形について友達 のワークシートや資料集などを 参考にして支援する。 ・素材の特性がつかみにくい 生徒に対しては、友達の助言 やワークシート①や資料集の などを参考にして支援する。